

わが家の耐震チェック

下の診断法は、在来工法による木造一戸建て住宅の安全度を調べる為のものです。ただし、診断結果はあくまで目安ですから、正確な耐震診断は専門家に相談して必要な補強をしましょう。

簡易耐震診断表 各評価をよく読んで各項目の該当する評点の数値を1つ選び口の中に記入して下さい。

評価	項目	地盤			評点	
		基礎	良い・普通	やや悪い		非常に悪い
評価1	地盤・基礎	鉄筋コンクリート造布基礎	1.0	0.8	0.7	(1) <input type="checkbox"/>
		無筋コンクリート造布基礎	1.0	0.7	0.5	
		ひびわれのあるコンクリート造布基礎	0.7	0.5	0.3	
		その他の基礎（玉石・石積・ブロック積）	0.6	0.3	0.1	
評価2	建物の形	整形	1.0		(2) <input type="checkbox"/>	
		平面的に不整形	0.9			
		立体的に不整形	0.8			
評価3	壁の配置	つりあいのよい配置	1.0		(3) <input type="checkbox"/>	
		外壁の一面に壁が1/5未満	0.9			
		外壁の一面に壁が無い（全開口）	0.7			
評価4	筋かい	筋かいあり	1.5		(4) <input type="checkbox"/>	
		筋かいなし	1.0			
評価5	壁の量	壁の量	階数	平屋建	2階建	(5) <input type="checkbox"/>
		多い		1.5	1.2	
		やや多い		1.5	1.0	
		普通		1.2	0.7	
		やや少ない		1.0	0.5	
		少ない		0.7	0.3	
評価6	老朽度	健全	1.0		(6) <input type="checkbox"/>	
		老朽化している	0.9			
		腐ったり、シロアリに食われている	0.8			
総合評価	(1) <input type="checkbox"/> × (2) <input type="checkbox"/> × (3) <input type="checkbox"/> × (4) <input type="checkbox"/> × (5) <input type="checkbox"/> × (6) <input type="checkbox"/> =					

■診断結果判定表

総合評価	判定	今後の対策
1.5以上	安全だと思います。	—
1.0以上1.5未満	一応安全だと、思っています。	専門家による診断を受ければ、なお安心です。
0.7以上1.0未満	やや危険です。	専門家による診断を受けて下さい。
0.7未満	倒壊または大破壊の危険があります。	ぜひ専門家と補強について相談して下さい。

※1.2階建ての場合は、1階部分だけで判断します。2.同じ項目内で、該当するものが2つ以上ある場合は、評点の低い数字を選びます。

建設省資料による

安全度の子チェックポイント

地盤

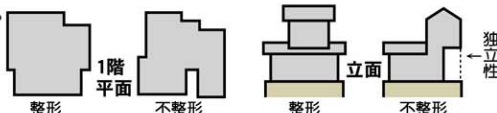
埋め立て地、低湿地、軟弱地盤の地域、液状化の可能性のある地域は要注意。

基礎

コンクリート造りの基礎で、縦と横に鉄筋が入っているものは比較的安全。鉄筋が入っていないものや石積み、ブロック積みの基礎は要注意。

建物の形

凹凸の少ない建物は比較的安全。不整形の建物は地震に弱い傾向がある。



筋かい

壁の中に筋かいがあるものは安全。ないものは注意。
※筋かいとは壁の中にある地震の力に抵抗するための斜材。柱と柱のあいだにある。

壁の量

壁の量がおおいものほど安全。少ない場合は要注意。

老朽化

老朽化しているものは要注意。腐っていたり、シロアリに食われているものは危険。建物の北側、台所や風呂場回りの土台をドライバーなどでつついてチェックを。

地震から身を守る10か条 地震、そのときあなたは・・・

- 1 グラツ！ときたら身の安全をはかる**
倒れやすい戸棚や本棚からすぐ離れ、丈夫なテーブルや机の下に身をかくす。トイレ・風呂場・押入れも比較的安全。
- 2 揺れがおさまったら火の始末を**
「火を消せ！」とみんなで声をかけ合い、ガスコンロやストーブなどの火を確実に消す。
- 3 窓や戸を開けて出口の確保を**
とくに鉄筋コンクリートの建物内にいるときは、閉めたままだと建物がゆがみ、出入口が開かなくなる事がある。
- 4 外へ逃げるときはあわてずに**
外に逃げるときは瓦などの落下物、ブロック塀等の倒壊物に注意。あわてず落ち着いて行動する。
- 5 火が出たら初期消火を**
「火事だ！」と大声で叫び、隣り近所にも協力を求める。炎や煙にまどわれず、できるだけ近寄って火を消す。
- 6 みんなが助け合って応急救護を**
お年寄りやからだの不自由な人、ケガ人などに声をかけ、みんなが助け合う。初期消火もみんなが協力して。
- 7 正しい地震情報に耳をかせ**
うわさやデマに振り回されない。携帯ラジオやカーラジオで正しい情報を。
- 8 避難は早めに。まだ大丈夫は危険**
決められた避難場所に、決められた経路を、できるだけ集団で、歩いて避難を持ち物は最小限に。
- 9 狭い路地や崩さむ、かけ・川べりなどに近づかない**
ブロック塀・門柱・自動販売機等は倒れやすいので要注意。
- 10 山崩れ・かけ崩れ・津波に注意**
ラジオやテレビで正しい情報入手する。津波警報が発令されたら、急いで高い場所へ逃げる。

「火を消せ！」とみんなで声をかけ合い、ガスコンロやストーブなどの火を確実に消す。